

【羅臼町地域公共交通計画(第1期:令和8年度～令和12年度)概要】

■ 計画策定の背景・目的

羅臼町は北海道知床半島東側に位置し、人口減少・少子高齢化・運転手不足が進行する中、住民の生活や地域活動を支える公共交通の維持・再構築が急務となっています。町の実証実験や住民アンケートから、高齢者や免許返納者など移動困難者のニーズに対応した交通体系の整備が求められています。

■ 計画期間・区域

- 対象区域：羅臼町全域
- 計画期間：令和8年度（2026年）から令和12年度（2030年）までの5か年

■ 上位・関連計画

- 国・北海道の交通政策基本法、道路運送法、地域公共交通活性化法
- 第8期羅臼町総合計画
- 北海道釧路・根室地域公共交通計画（広域連携・持続可能な交通ネットワーク構築）

■ 現状・課題

- 人口は昭和40年の8,931人から令和7年には4,188人へ減少、65歳以上高齢者が増加
- 町内バス（阿寒バス）は主に通学中心のダイヤ。ハイヤーは運転手不足で夜間営業できず
- コミュニティワゴンの実証実験（買い物支援、交通空白時間帯の運行等）を複数実施
- 利用者は少ないが、高齢者や車を持たない世帯から継続運行・ルート拡充の要望が多い

■ 基本理念

「町民の思いをつなぐ、公共交通ネットワークがつくる住み続けたいまち」

■ 基本方針

1. 移動ニーズ・交通空白の解消に即した公共交通の提供
2. 交通体系の維持・確保のための運転手確保対策
3. 地域公共交通の利用促進に向けた町民の意識醸成
4. 広域的な移動を支援する生活交通路線の維持

■ 具体的施策

- 既存交通の維持とコミュニティワゴンの通年運行
- バスダイヤの見直し（小学校・幼稚園の統合等の変化に対応）
- 公共施設等へのアクセス向上
- 運転手確保（免許取得補助、共同雇用対策、移住施策等）
- デマンド型（予約式）サービスの検討・確立
- わかりやすい情報提供と利用促進のための出前事業
- 広域路線（釧路－羅臼線等）維持に向けた行政支援

■ 施策スケジュール(令和 8~12 年度)

- コミュニティワゴン通年運行、バスダイヤ改正、事業者支援、運転手募集、情報提供、公共交通利用促進事業、広域路線行政支援等を継続的に実施

■ 目標値・評価指標(例)

- コミュニティワゴン利用者数 (年 1,300 人→1,862 人へ増加)
- 満足度向上 (50%→90%へ)
- 町内バス利用者数・路線数・広域路線数など

■ 推進体制

- 「羅臼町地域公共交通活性化協議会」にて毎年計画の評価・検証・見直しを実施
- 交通事業者、自治会、福祉団体、観光協会、行政など関係者が連携

■ 今後の展望

- 持続可能な公共交通体系の確立
- 高齢者・移動困難者へのサービス充実
- 町民満足度向上と広域交通ネットワーク維持
- 令和 11 年度に次期計画の策定予定

以上が「羅臼町地域公共交通計画」の概要です。

町の現状・課題と住民ニーズに基づき、持続可能で利便性の高い公共交通体系の構築を目指しています。